

* あいず *



特集1

熊本に根付くか?! 寄附文化

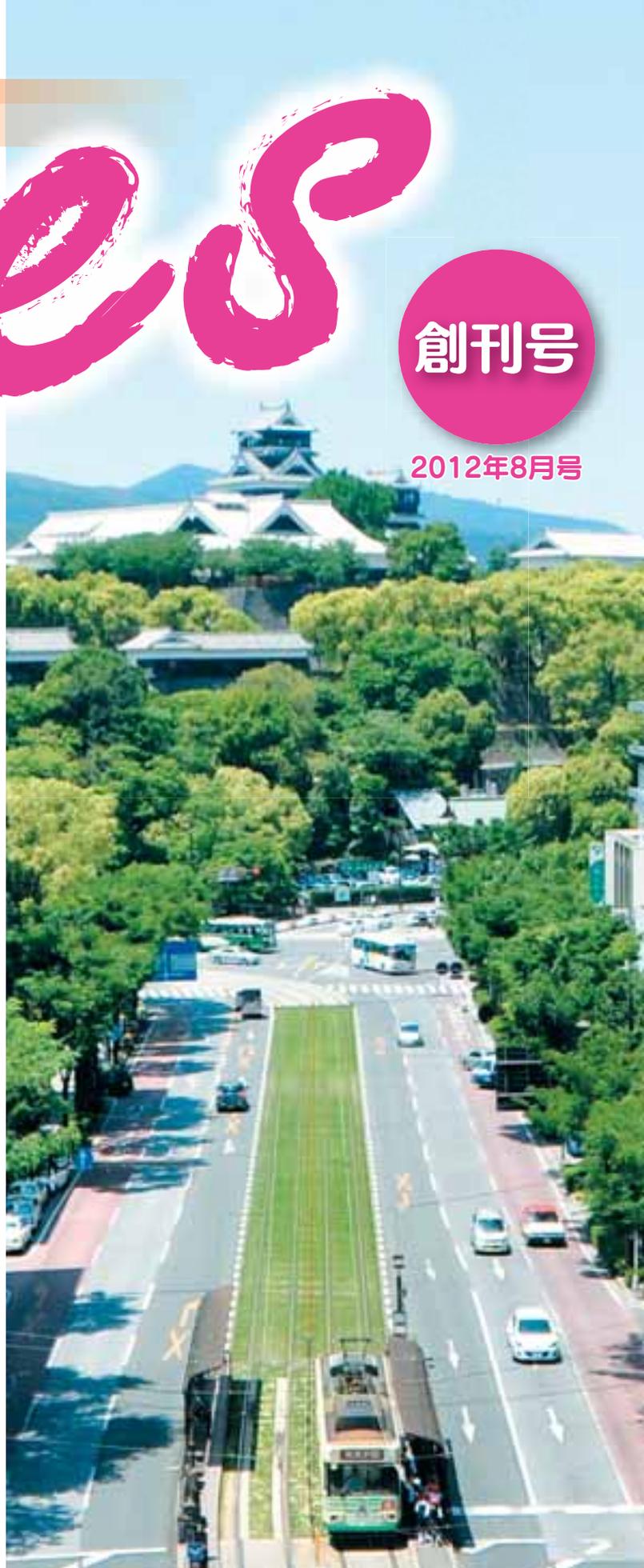
市民11人に聞きました!
いよいよスタート!
「くまもと・わくわく基金」

特集2

新しくなった あいぽーと

創刊号

2012年8月号





Contents

特集

熊本に根付くか?! 寄附文化 3

熊本市民11人に「寄附への考え」を聞きました!

いよいよスタート! 市民活動を支える「くまもと・わくわく基金」

新しくなった! あいぽーと 14

- ◆リレーエッセイ わたしの国のボランティア活動 11
- ◆市民活動を支える企業 コスギ不動産 代表取締役 小杉康之さん 12
- ◆シネマ放談 「平成狸合戦ぽんぽこ」に学ぶ市民活動 16
- ◆誌上セミナー 第1回市民公益セミナー 18
- ◆おしゃべりノート あいぽーと仲間の1週間 童謡コーラスグループ 気まぐれーズ 20
- くまもと・わくわく基金からのお知らせ 21

あいぽーと Information

今回の特集「熊本の寄附文化」を象徴する景色と言えば、熊本城と市電緑の絨毯。熊本市の中心部通町からは、その両方が一望できる。

通町から熊本城を眺めるとその緑視率(景色に占める緑の割合)の高さに圧倒される。熊本城の年を経た木々の力強い緑に、吸い込まれるようにまっすぐ延びる市電軌道のやわらかい緑の芝生。

こぎゃん景色、ほかの政令指定都市じゃ、なかなか観られんばい。(和)



(熊本市写真クラブ撮影)
園田 昇

表紙写真の
紹介

特集

熊本に根付くか?! 寄附文化

3. 11以後、東日本大震災の1日も早い復興を願って多くの寄附が集まった。赤い羽根共同募金、緑の募金、ふるさと納税・・・私たちの周りには、さまざまな寄附の機会があり、誰しも一度くらいは募金や寄附をした経験があるのではないだろうか？

今年4月、政令指定都市が誕生して、熊本市では市民からの寄附をまちづくりを活かそうと「くまもと・わくわく基金」を創設した。この基金、活動資金で課題が多いNPOやボランティア団体などの市民活動団体を、市民が寄附という形で応援する仕組み。寄附の集まりが今後の支援を大きく左右することとなる。

これまでに12億円の寄附を集めて熊本城復元を実現した実績もある熊本市。市電の緑のじゅうたんの寄附も少しづつ広がっている。

はたして熊本には寄附文化が根付いているのか？これから根付いていくのか？
あいぼーとを利用して市民の声から考えた。

熊本市民11人に

「寄附への考え」を聞きました



きっかけは熊本城一口城主



熊日童話会

渥 美 多嘉子

子育て中は、経済的にも、精神的にも、全然余裕がなく寄附どころ

ろの状況ではなかった。

今から十数年前、新年のカウントダウンにお城に行った時の事、美味しいお神酒を頂き、一杯機嫌で、娘と熊本城の一口城主になったのが、寄附らしい寄附の始まりだった。それから、やがて定年を迎え、年金を頂くようになって、長年働けたという感謝の気持ちと、自分でも何か世の中の役に立てたらという思いが募り、出来る範囲内で、寄附を続けるようになった。現役時代、福祉関係の職場で、災害救助に出かけたり、沖縄復帰に際して無料巡回診療をしたり、

その他いろいろな地域を回り、たくさんの人々との出会いと、未知の世界の生活環境、経済など憂慮すべき状況を目の当たりに見聞きしてきた中で、見えない裏の場面を想定して、これからも、役に立つ寄附は、やっていきたいと思っています。

善意で寄附されたお金って何に使われるの？



こそだてさぽーと
「BEE*NATURAL」

上田 裕香

寄附に関しては、私はちょっと変わった認識（偏見）があるように思います。

街頭で行っている募金や店頭においている募金箱、利用したことはありません。ましてや、某テレビ局で毎年行われている一日がかりの募金収集番組にも批判的です。確かに日本国民のボランティア意識・寄附意識の啓発には一役買っているかとは思いますが…

街頭募金に関しては、詐欺まがいな集団があるとの情報もあるし、募金番組に関しては、出演婦女子タレントが「え！ギャラが出るんですか？」とマスコミを前に驚いたことは有名な話。ボランティア精神の高い欧米諸国ではタレントがそういった番組に無償で出演するとのこと。日本では数億円の募金を集めたとして、どれだけが芸能人の（高額）ギャラに使われるのか、公表があっても良さそうなもの…

結局、善意で寄附されたお金って何に使われるんでしょうね。寄附（金）といっても、大切なお金。無駄になるようなことはしたくないとの思いは、みなさん同じではないでしょうか？

募金は身近な支援活動



高校3年生

瀧本 祐香子

募金は私達の身近な支援活動である。

コンビニ、病院、デパート等、至るところにさり気ないチャンスが潜んでいる。

私は震災以来の一年間、募金箱を見る度に小銭一枚を必ず募金してきた。

少しでも早く被災地の復興が実現し、そして被災された方の心が安まるようにと願うことが、私達にできる小さくて大切なことだと思ふ。

私達は、東日本大震災を始め、支援を必要とする人がこの世界にたくさんいる、このことを忘れてはならない。

それを可視化したものが募金であると私は考える。

寄附で叶えたい思い



一般社団法人 輝け日本の会

谷川 政敏

阪神淡路大震災を機に、わが国では「NPO法」が成立し、「ボランティア元年」の到来とまで言われた。

しかし、その基盤となるべき市民の地域活動環境は、依然充実感がないままだ。

30数年間、防災・国際協力・教育・地域づくり・環境などを、取り組んで来た者として行政との補完（水と油、価値意識の差異）関係や、協働社会づくりに不十分さと難しさを日頃から感じている。

果たして本基金が、どう市民各層に周知理解され、活動を下支えする人の広がりにも育つのかも見守りたい。

私は残りのボランティア人生で、朱印船交易交流の地カンボジアの「熊本歴史友好公園」の整備に、尊い市民からの基金を活かしたいと思っている。

今回スタートする「支援基金」が、市民の自慢づくりの発信になり、広報次第では行政住民サービスの「地域間格差」を薄める貢献策にもなると期待している。

寄附は絆を豊かにする市民活動そのもの



健康マージャン協会

築地孝昭

世の中何をやるにしても人・物・金が必要と言われるように、寄附行為もお金だけでなく、物の寄附もあるし、ボランティアという人の行為もある。寄附行為は社会貢献であり、地域社会の絆を豊かにする市民活動そのものと理解している。仕事に多忙であった現役時代には、ささやかであったが、「口と足で描く芸術協会」の作品の購入等を行ってきた。シニア世代になってからは健康マージャンのボランティア活動を推進するとともに、会員の皆様の篤志を得て毎年社会福祉協議会への寄附を行っている。同様に昨年は東日本大震災に対して3回の寄附を行った。健康マージャンをツールとして同好の志が集い、親睦と交流を深め、健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりを通して、いつまでも元気に社会生活を送って頂くことに寄与する事を目的としている。特に健康マージャンは介護予防事業に必要な条件を満たしているので、行政と市民とを結ぶ市民活動と位置づけて活動している。

寄附は真心からの行為、だからごまきちゃんと報告を



会社員

土井和子

私は、今までに様々な寄附をしてきている。

災害見舞い、難病手術、動物保護、環境保護、芸術保存、赤い羽根、交通安全協会など、数えきれない寄附活動が行われ、そのたびにお役に立つならばと少額ではあるが行ってきた。寄附は、役立ててほしいという人達の真心からの行為であるから必ず目的のために使われていると信じているが、中には人の真心を利用する者もいて寄附行為に躊躇する時がある。だからこそ、寄附行為に対する報告義務は様々な方法で行ってもらいたいと常々思っていることである。

寄附をしなくても、人間には人を思いやる優しさや郷土を愛する素晴らしい心を持っていると思う。人は、誰かのために、何かのために役立つことを喜びとし、充実感を味わえるものだと信じている。そして、明日は自分が助けられる立場になるかもしれないと、感謝しながらの日々の行動でありたいと思う。

寄附は市民活動への参加の第一歩



くまもとひなママネット

遠矢朋子

子育てに追われて過ぎたこの10年。寄附というものにはほとんど関心なく過ごしてきました。ですが、昨年の東日本大震災を機に、市民活動に関わるようになって、寄附をすることもしていただくこともとても身近なことになりました。

市民活動をするにあたって賛同者から頂ける寄附。資金援助ということではもちろん、私たちの活動に共感し、応援して下さい。震災を感じる事ができ、大きな力をいただいています。震災を通じて、行政に頼りきりでなく、市民が自ら考え動く市民活動の重要性を感じました。ですが、誰もが直ぐに行動に移せるわけではありません。寄附することが市民活動への第一歩。自動的に税金という形で行政に託すのでなく、市民活動に自分の意思で寄附することで自分たちのまちづくりに参加する。そんな寄附文化がこれから根付いていくことを期待しています。

人との出会いで寄附意識に変化が



YOGAN

増 永 香 奈

私は「寄附してください」と、よく街頭でいわれて、団体名を聞いてから小額ですが、つい寄附してしまいます。

しかし、寄附団体を決めて、大金を寄附するまでには今まで至りませんでしたし、誰かの為に具体的に使ってもらうとは考えておりませんでした。

寄附について私の考えの転機の訪れが、ここ数年続いているヨガや社会人としていろんな方や本と出会った事で、人間として本当に裕福ならば、自然と寄附をする」と言う事を教わりました。

自分で何かできて、どうやって寄附ができるかを考え、趣味のヨガを通じて寄附を始める事をしました。損得関係なしに、ヨガに参加して頂いた方からの参加費をまず、熊本の慈善団体に初めて寄附することをしました。ただ、素直に地元の役に立つて欲しいの一念です。少し、人の為に役立てて、気持ちが晴々です。

これからも少しずつ、寄附を続けていこうと計画しております。

自分ができる支援の形が募金だった



高校3年生

山 本 英 明

街頭で多くの学生や大人の方々が募金活動をしている。私もその活動に参加したこともあり、実際に募金したこともある。たくさん支援の形として、よい形だと思う。

私が聞いたことのあるのが、「お金だけやっても・・・」という意見である。たしかに私もそのように思わなくはない。大きくわかり始めたのは、東日本大震災の時である。全国の人々が現地に行きボランティアをする姿が報道されているが、本当の私の気持ちは募金ではなく、現地に行き、現状などを知らなかった。しかし高校生である以上、時間や金銭的、親の了解など大きな問題があり、クリアできないものばかりである。ですからどうしても募金という形で支援することになる。だがそのように思う人は多いかと思う。気持ちの上では、支援に対する気持ちは変わらないと思う。

新しい公共の「つなごう」を支えるのが寄附



NPO法人 でんでん虫の会

吉 松 裕 蔵

心に響く新しい仕事をつくりたいと願う若い人たちが「ソウルワークひごったま」を立ち上げました。その集いに講師の一人として呼ばれた私は、分かち合うことの意味を確かめたいと、一個のリングを百名ほどの参加者で分け合いました。ひと切れが小さすぎるのでは私は心配しましたが、みんなの口に入ったのは確かにリングの味でした。

こんな寄附の方法も…

★「カンパイ！」が 社会貢献に！

カンパイチャリティ（京都発）

公益財団法人京都地域創造基金が京都の飲食店とともに実施するチャリティキャンペーン。期間内に協賛店舗が提供する「カンパイチャリティメニュー」を注文すると、販売額の一部がチャリティ（寄附）として暮らしやすい豊かな地域社会づくりに役立てられるシステム。第1弾として昨年3/4～4/17の期間に、44店舗で実施し、233,450円集まり、京都の12事業に寄附された。

★預金利息の一部で活動を応援！

九州ろうきん NPOパートナーズ

九州ろうきんでは、1年もの定期預金の満期利息から預金者が指定する割合の寄附金を預かり、ろうきんの拠出金と合わせて市民活動を助成している。昨年度、熊本県内では11団体、210万円が助成された。

★くまモングッズ購入が 寄附になる！

熊本県ものづくり工業会（熊本発）

東日本大震災への長期的な復興支援のために「くまモン」グッズを製作・販売。その収益金をユニセフを通して被災地の子どもたちの支援に寄附している。グッズは栓抜き、鉛筆キャップ、マグネット、名前ホルダー、ブックエンド等6種類。募金額は平成24年6月現在77万円。

「この人たちのために何かしたい」との思いがい



熊本・アジアパートナーシップの会事務局

内藤 豊

「この人たちのために何かしたい」って思うことってありますよね。タイの貧困やエイズの実情を知るためのスタディツアーで2000年にタイを訪れて以来、そんな思いを持ち続けながらの活動は12年目になりました。私たちが助けたいと思ったのは、タイの

国や地方自治体などの公共の仕事を支えるために国民は「税金」を納めます。公共事業だけでは足りない働きを担うために、NPOなどの新しい公共が生まれました。その運営を支えるには「こころざし」に賛同する人々からの「寄附」が必要となります。リングは、たとえ小さなひと切れであっても、愛の味に違いありません。

「貧困をつくるのは 神ではなく、わたしたち人間です」

わたしたちが 分かち合わないからです」 マザーテレサ

子どもたち。訪問先のチュン郡のエイズアクションセンターで、エイズの子どもやエイズで両親を亡くし祖父母や親戚と暮らす子がたくさんいることを知り、「何かしたい」と思ったのです。

2003年に始めたのは募金活動。01年、02年にスタディツアーに参加した47名とともに集めたのは20万円。翌年も募金を続けました。現地在住の日本人男性とタイ人の奥さんの管理の下、15人のエイズ遺児たちに育英募金として手渡してもらいました。

2007年に始めたのはカレンダープロジェクト。支援するタイの子どもたちの写真や、彼らが書いた絵をカレンダーにして販売し、益金を送金することにしました。これは、募金をしてくれた方が、カレンダーの写真や絵に目をやるときに、エイズでいつ亡くなるかわからない子どもたちの感謝の気持ちをカレンダーの向こう側に感じてくれればという思いからでした。両親を亡くし、エイズ患者の弟と暮らす小学5年生の女の子がくれた手紙にはこう書かれました。

「私は一生懸命勉強して将来看護師さんになりたいと思っています。病気の人の面倒をみたり、弟も治してやりたいです。」

「カレンダーはいりませんか？」

いよいよスタート！

市民活動を「くまもと・わくわく基金」 支える

平成24年4月、全国20番目の政令指定都市誕生を記念して、熊本市は、まちづくりに取り組んでいるNPOやボランティア団体を資金面で応援する「くまもと・わくわく基金」を創設しました。その概要を紹介します。

■がんばるNPOやボランティア団体と市民をつなぐ「くまもと・わくわく基金」

一人暮らしの高齢者の安否確認、子育てに悩む母親の支援、公園や道路の美化活動、子どもの通学を見守る活動など、行政だけでは対応しきれない地域の課題を地域住民自らが解決するため、多くのNPOやボランティア団体が活躍しています。

しかし、こういった活動をする上で、頭を悩ませているのは、活動資金。「くまもと・わくわく基金」は、地域の住民や事業者が資金を寄附することで、自分たちが本当に必要な活動を育てていこうとするものです。

ですから、寄附をした人は寄附をしたことで役立ったと満足するだけでなく、そのお金がどのように使われ、どのような成果につながったかを継続して見守ることが求められます。一方で、寄附を受けたNPOやボランティア団体は、いただいた大切なお金を有効に活用し、活

市民活動支援への市長からのメッセージ

本市では、個性豊かで魅力あふれた誇りがもてるまちを築いていくため、「市民の参画と協働によるまちづくり」の推進を目標に掲げています。

そのためには、地域で活動されている自治会等に加え、環境や福祉、教育などそれぞれの分野で活動されているNPOやボランティア団体の皆さんの取り組みを、さらに活発にしていくことが重要と考えています。

そこで、平成21年度に市民、有識者の代表からなる「新しい公共検討委員会」からの提言をもとに、市民公益活動を取り巻く課題等のアンケート調査を実施するとともに、団体の活動資金の現状把握を行うなど、様々な検討を重ねてまいりました。

更には、平成22年4月に「自治基本条例」、翌23年4月に「市民参画と協働の推進条例」を施行し、自治の基本原則として情報共有・参画・協働の推進に取り組んでいるところです。

そして、本年度から新たに、それぞれの地域や分野で活躍されているNPOやボランティア団体等の活動を支援するための「くまもと・わくわく基金」（熊本市市民公益活動支援基金）を創設いたしました。

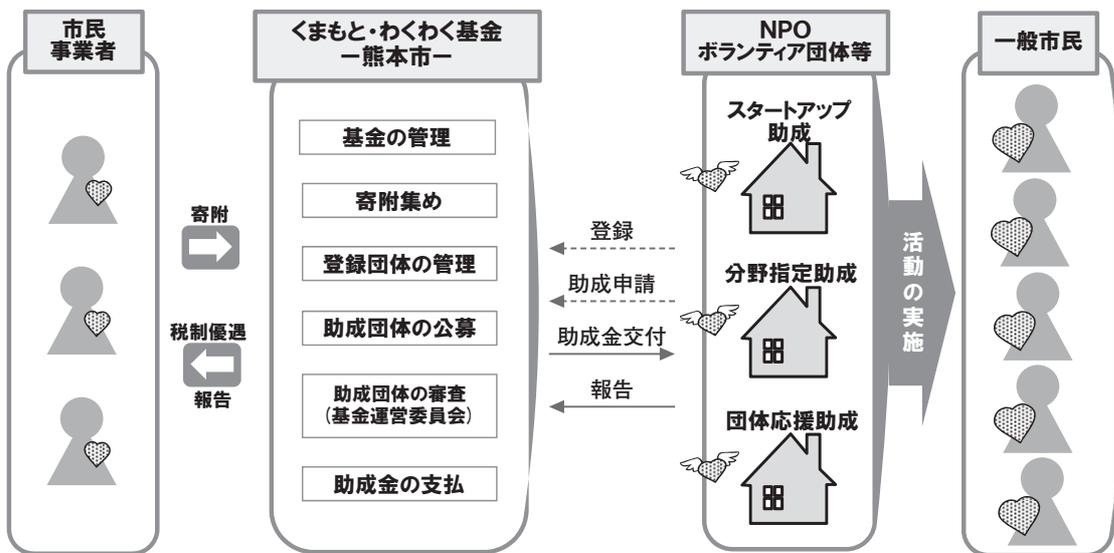
今後は、この基金の活用とPRを積極的に図ってまいりますので、多くの団体の皆様にご登録いただき、助成事業や相談支援制度を有効に活用していただきますようお願い申し上げます。

本基金が、市民の皆様や事業者の皆様方のご理解のもとに広く活用され、市民活動団体の専門性、多様性、先駆性、迅速性等を最大限に生かした取り組みが、ますます充実していくことを心から願っております。

平成24年8月

熊本市長 幸山 政史

動にどのように活かされたかをきちんと報告することが必要です。



「くまもと・わくわく基金」は寄附を通して、市民自らが暮らしやすいまちづくりを進めていこうとする取り組みだと言えます。

■基金の仕組み

「くまもと・わくわく基金」は、市民や事業者からの寄附を基に運営されます。助成団体は、登録団体からの助成申請を受け、基金運営委員会が審査の上で決定します。助成する団体数は、集まった寄附金額により増減はありますが、通常は15団体程度と想定されています。

助成を受けた団体は、年度終了後に助成事業について報告書を作成、寄附した方々に報告を行います。

〈寄附の種類〉

■寄附はどのようによればよいのか？

寄附には、種類を選んでする方法、社会貢献型自動販売機を設置する方法、寄附者の名前が残る寄附の3つの方法があります。

①寄附の種類を選ぶ方法

寄附の種類は、この活動を応援したいということで活動分野を指定する「分野指定寄附」（分野については表1参照）、この団体を応援したいと団体を指定する「団体応援寄附」、特に指定せず幅広く応援する「一般寄附」の3種類があります。

「くまもと・わくわく基金」への寄附は、地方公共団体への寄附として「ふるさと納税」と同じ扱いになり、税制上の優遇措置を受けられます。

②社会貢献型自動販売機を設置する方法

お店や会社の飲み物の自動販売機を「社会貢献型自動販売機」とすることで、売上の一部を寄附するというものです。

③寄附者の名前が残る寄附

寄附した企業や個人の名前を冠として残した寄附です。寄附金額が100万円以上の場合に限られます。

これらの方法の中から選択して、寄附をすることとなります。

■税制上の優遇措置などがありますか？

「くまもと・わくわく基金」への寄附は、地方公共団体への寄附として「ふるさと納税」と同じ扱いになり、税制上の優遇措置を受けられます。

個人の場合であれば、2千円を超える部分について、課税される額に応じた控除が受けられます。また相続した財産を寄附した場合は、寄附した財産は相続税の課税対象となりません。法人の場合は、寄附の全額を損金に算入することができます。

このほか、寄附額に応じて基金サポーター証が発行され、熊本市の観光・文化施設の入

園料・入場料が免除されたり、基金の報告会や交流会に参加できます。

〈助成のしくみ〉

■助成を受けるには？

まず団体登録をする必要があります。
熊本市内で活動しているNPO法人、ボランティア団体、地域団体、その他市民活動を行っている団体であれば、所定の申請書類を提出することで登録できます。

登録後、助成を申請すると、基金運営委員会で審査のうえ、助成が決定することになります。

■助成にはどんな種類があるの？

助成は、「分野指定助成」「団体応援助成」「スタートアップ助成」の3種類があります。

①分野指定助成

活動分野を指定した寄附があった場合に、その分野で活動する団体に対して行われる助成です。活動分野は表1の6分野、助成額は5万～100万円、助成率は事業費の3分の2を上限とします。この助成を継続して受けることができるのは、3ヶ年度となっています。

②団体応援助成

団体応援寄附で指定された団体への助成です。助成額は、団体への寄附相当額に最大20万円を加算した額または事業費の3分の2のどちらか低い方を上限とします。

③スタートアップ助成

この基金の特徴と言える助成で、活動を始めて3年未満の団体やグループを対象としています。始めて間もない団体は実績がないため、助成金を受けることが難しい場合が多いことから、今回のスタートアップ助成は大変使いやすと思います。助成は原則1年、助成限度額は10万円、助成率10分の10の助成です。

表1 活動の6分野

- ① 保健、医療、福祉の増進を図る活動
- ② 環境の保全を図る活動
- ③ 生涯学習・子どもの健全育成を図る活動
- ④ 文化、芸術、スポーツ、国際協力の振興を図る活動
- ⑤ まちづくりや地域安全の推進を図る活動
- ⑥ 上記に含まれない活動

★平成24年度の「くまもと・わくわく基金」助成事業について★

今年度の助成事業の概要を紹介します。

※今年度は事業開始にあたり、通常とは異なるスケジュールで助成を行いますのでご注意ください

■助成申請資格：「くまもと・わくわく基金」の登録団体（申請時の登録可）

■助成対象事業：平成24年10月下旬から平成25年3月31日の期間内に行われる事業

■助成の種類と助成額

今年度の助成は分野別指定助成とスタートアップ助成のみです。

項目	分野別指定助成	スタートアップ助成
対象	表1の6分野	平成24年4月1日現在で設立3年未満の団体
助成額	助成率 事業費の2/3を上限	助成限度額10万円（助成率10/10）
助成金予算総額	80万円程度	20万円程度

■申請期間：平成24年8月3日（金）～8月21日（火）

＜助成事業説明会＞

●日時：平成24年8月3日（金）午後5時から ●場所：ウエルパルクまもと 1階 大会議室

●問合せ先：熊本市市民活動支援センター・あいぽーと TEL 096-366-0168





リレーエッセイ



わたしの国のボランティア活動



熊本大学文学部 孔 艶艶

ボランティアは中国語で「志願者」と言います。報酬も求めず熱心に他人を助けるというイメージが浮びます。ボランティア活動をすることで、周りの人から褒められたりする視線が集まり、自分の社会価値を実現したと感ずることが出来ます。ですから、ボランティアになることは光栄なことだと思います。

中国では日常生活の中で色々なボランティア活動が見られます。例えば、貧困地域に行って先生として授業するボランティア、黄河を汚染から守るボランティア、週末や祝日には、町の中心区で法律相談とか家電修理などをするボランティアが見られ、ゴールデンウィークのような長い休みには、大都市の駅で、切符を買う手伝いや道案内をする大学生のボランティアもいます。

また2～3年前には、食用に販売するために捕獲した野良猫やペットの猫250匹を運んでいたトラックを、民間のボランティア団体が高速道路上で止め、8時間の交渉の後、すべて買取って助けたということが上海のテレビで大きく報道されました。

まだボランティアという言葉知らない小学生の頃、私は「義務労働」によく参加しました。

私の住んでいる町は北方で、冬は大雪に見舞われ、一晩で50センチの雪が積もることもあります。普段、道路清掃をしている環境衛生従業員だけでは手が回らないので、全町が「義務労働」で除雪を行います。小学校の高学年だった私も、学校の指示で授業をやめて参加しました。私達にとって、外で労働することは授業より面白く、クラス全員、矢も盾もたまらずに竹ぼうきやシャベルを持って外へ飛び出したことを思い出します。

また、独りぼっちの老人のために農産物を収穫したり、老人ホームに行って部屋の片付けを手伝ったりということもしました。こういった「義務労働」は、小学生の私にとって全然疲れることはなく、面白かったです。

大学に入り、学校にボランティアになる希望があるかと聞かれた時、迷わずに申し込みました。その時にももらった青年ボランティアと書いてあるバッジは、いまでも私の引き出しの中にあります。

大学三年の時、ボランティア活動をするチャンスがようやく来ました。東北アジア経済フォーラムで、私は日本語専門の学生として、日本の経済専門家を空港でお迎えし、ホテルのチェックインや会場の道案内を行いました。初めて自分の専門を生かすことができ、達成感を感じました。



青年ボランティア
バッジ

中国ボランティアが援助を必要とするすべての人々に愛を捧げ、世界に向け友好の手を差し伸べることを表しています。

日本は文明が発達しており、ボランティア活動はきっと盛んなはずだと思っています。日本で留学している間にボランティア活動を体験してみたいです。また、日本での留学を通じて、自分の知識を増やし、視野を広げ、もっと高いレベルでボランティア活動を行うことができるよう、優秀な人材になりたいと思っています。

市民活動を 支える企業

企業もボランティアも
相手がどういうことを求めているのかを
見失わないことが大切です。



■市民活動を資金面でお手伝いできれば

高田 いまや公共サービスは、ボランティアやNPO、小杉さんのところのような活動があつて初めてきちんとしたサービスが提供できる、そういう時代になってきています。しかしながら、非営利団体は、資金的にも組織的にも運営面で、なかなか厳しい課題をお持ちのところが多く見られます。今回、そういった点を行政なりに支援していこうということで『くまもと・わくわく基金』を創設いたしました。コスギ不動産さんには早速にご協力をいただき、ありがとうございます。今回、ご寄附いただいた思いをお聞かせいただけますか。

小杉 そうですね。熊本は4月から政令指定都市になり、これからは九州の代表として活動することも求められると思います。そのような中で、市民活動を進めるためには、どうしても資金も必要となりますので、その部分でお手伝いできればと思っています。

高田 小杉社長は共同募金の評議員をされているとお聞きしています。また私どもの市営住宅の指定管理もしていただいていますし、



■きっかけは熊本生まれ、熊本育ちの企業として熊本の発展に役立ちたいの思いから

高田 コスギ不動産さんは、ロアソンの公式スポンサーや熊本城マラソンでの協力といったスポーツ分野、また最近ではテレビでも盛んに報道されておりました『みなまた未来コンサート』や『阿蘇音楽大陸』といった文化活動など、幅広い分野で社会貢献活動をされますが、取り組まれたきっかけをお聞かせ願いますか。

小杉 私どもコスギ不動産は熊本で生まれ、熊本で育った企業ですので、熊本の発展のために少しでもお役に立てればという気持ちから取り組んできています。特に地域社会への貢献は経営理念でもあり、地域が活性化するためには、スポーツや文化も活性化していかなければならないと考え、これまで、こういった分野の活動のお手伝いをしてきています。

このほかにも、最近では熊本市と道路ふれあい美化ボランティア協定を結んで地域の美化活動にも取り組んでいます。この九品寺地域でも、毎日、朝から全社員で清掃していますし、年に何回かはボランティアのような形で道路清掃にも取り組んでいます。去年も、火の国祭りの後に、全員で下通の清掃をしました。

高田 美化活動のお話が出ましたが、活動する中で社員のみなさんや地域の人のコミュニケーションが高まるといった効果がありますか？

小杉 それはありますね。やはり社員全員ですることに意義があると思いますし、社員もビジネスができるのも皆さんのおかげという気持ちになるのではないかと思います。

企業としても、ご自身としても、本当に幅広く社会活動されてますね。いろいろな方々の困っておられることをご存知な訳ですね。

小杉 そうですね。まあ不動産業というのは、困ったときには売却する、いいときには広げようとする、そのどちらかです。だからいろいろな情報から、本当にその業種に合うテナントをお世話し、それが繁栄することが私たちのやりがいや、喜びでもあります。そういう気持ちでお世話するのは、ただビジネスだけを考えてするのでは、また違ってくるのではないかと思います。

高田 なるほど、そうですね。

小杉 はい、だから住んでもらっていい住まいだったと思っていただけることに、私たちは価値を感じます。ビジネスもおなじです。テナントも事務所も住まいも、私たちがお世話したことによって、よりよい住まいづくりができた、ビジネスも繁栄した、会社も活性化できる事務所に移転ができた、そうやっていただきたいという気持ちをもってやるのかやらないかで、また違ってくるのではないかと思います。

高田 そういう気持ちで会社も運営されているから、会社も成長し、こういう社会活動に対してのご理解も深まっていくということなんでしょうね。

■相手の立場になって考えるという知恵 やアイデアが生まれる

高田 先進的な御社の立場から、市民の活動を盛り上げていくため、団体のみなさんへアドバイスをお聞かせいただければと思います。
小杉 そうですね。私はいつも社員に『相手

の立場になって考えることではないかな知恵とか、アイデアが出る』と話しています。困っている人たちは何で困っているのか、どうしたら助かるのかを考えれば、いろいろな手法は見つかるのではないのでしょうか。例えばホームレスの人たちは、職がないのか、住まいがないのか、働く気がないのか、それをヒアリングして対応することが必要だと思えます。そのためには資金も必要になってくるでしょう。困ったところにビジネスあり。私たち企業は、そういう考えでビジネスを進めていますね。企業にしても、ボランティア団体にしても、地域活動にしても、何のためにという目的、そして相手がどういうことを求めているのか、どういうことをすれば平等にかつ喜ばれる活動ができるかということを見失わずに行動することが必要です。ともすれば、市民活動は自分たちの満足度だけで進むことが多いかと思えます。してやったという自分への満足で済ませるのではなく、そのしてやることによって、相手がどうなるのか、そこが一番問われるところではないかと思えます。

高田 われわれ公務員も上から目線とよくご



批判を受けます。そういう態度では、同じことをしていても逆に反発を受けますものね。よく相手のことを知った上で同じ支援をするというか、そういう意味では、ものすごく参考になります。

小杉 市営住宅管理でも一緒です。いままでも公共が管理していたのを、何のために民間に委託されたかと。それはもちろん市営住宅にいま住まわれている入居者のより快適な住まいづくりをプロとしてお手伝いができるということも加味しなければなりません。市の立場になり、入居者の立場になり、その中間で私たちがいかにお世話できるか、そこが問われるところではないかと思えます。

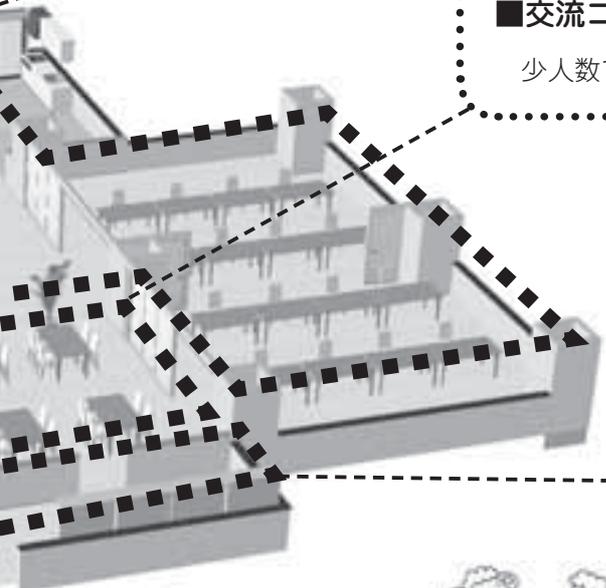
私も熊本市民ですし、熊本市の企業です。これだけスピーディーな世界で、ITも進み、グローバル化が言われていますから、私たちも民間だけでなく、行政とコラボレーションしながらやっていくということが、本当に熊本の発展のためになるのではないかと思えます。

高田 最後になりますが、熊本市といたしましても、市民の幸福感と言いますか、そういったものを公共サービスとして提供するためには、市民のことを本当にわかっていらいらっしゃって、一緒に公益活動をやっていただけパートナーとしてのNPOさんや企業さんが本当に大事だと思っております。今回はこういういった取り組みに快く参加していただき、ありがとうございます。また、今後とも、熊本市と一緒に、いいまちづくりのために一肌脱いでいただければと思います。今日は本当にありがとうございます。



■イベントコーナー、
会議・セミナー室

市民公益活動を行っている団体や、
市民公益活動を行おうと思っている個人が、利用できます（事前予約制）



■交流コーナー

少人数でのミーティングや情報収集に利用できます。



■情報コーナー

熊本市内のNPOやボランティア団体の情報、県内や全国
の市民活動の情報を掲示、設置しています。

また、あいぽーと登録団体の紹介や活動のチラシを団体
別にファイルしており、自由に閲覧できます。



■相談コーナー



NPO相談窓口

経験や特技を生かして起業したい、仲間を集めて活動する方法を知りたいなど、継続
して自立した活動を行いたい方からの相談（NPO法人立ち上げの事前相談）や法人設
立の申請手続き、運営の相談などに経験を持ったスタッフが常時対応しています。

なお、認定NPOを目指す方には、専門の相談員が対応します。（予約制）
相談時間は午前10時～午後7時までです。

ボランティア・基金についての相談・受付窓口

ボランティア活動を始めたい、活動スタッフを募集したいなど、市民活動に関するさ
まざまな相談に対応します。また、「くまもと・わくわく基金」の団体登録の受付や助
成申請の相談も受けています。

相談時間は午前8時30分～午後9時までです。

特集

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

新しくなった！あいぽーと

熊本市市民活動支援センター・あいぽーとは、熊本市内で活動されているボランティアやNPOなど、さまざまな分野の市民活動を支援する総合拠点です。活動・交流の場や情報の提供、相談などを行い、これから活動しようと考えている人や、すでに活動に取り組んでいる人を幅広くサポートします。

利用時間：午前8時30分～午後9時まで（休館日第2木曜日・年末年始）

あいぽーとの3つの機能



NPO など市民活動団体・住民支援機能

あいぽーとでは、市民活動を行っている団体や市民の方に、ボランティア活動の場の提供や交流の場づくりを行っています。設置しているパソコンや印刷機・コピー機は、市民活動の情報収集、チラシ・資料作成などに利用いただけます。今年度からは、NPO法人の設立、認証等の事前相談や運営相談もスタートし、市民活動のお手伝いの幅を広げています。

情報発信機能

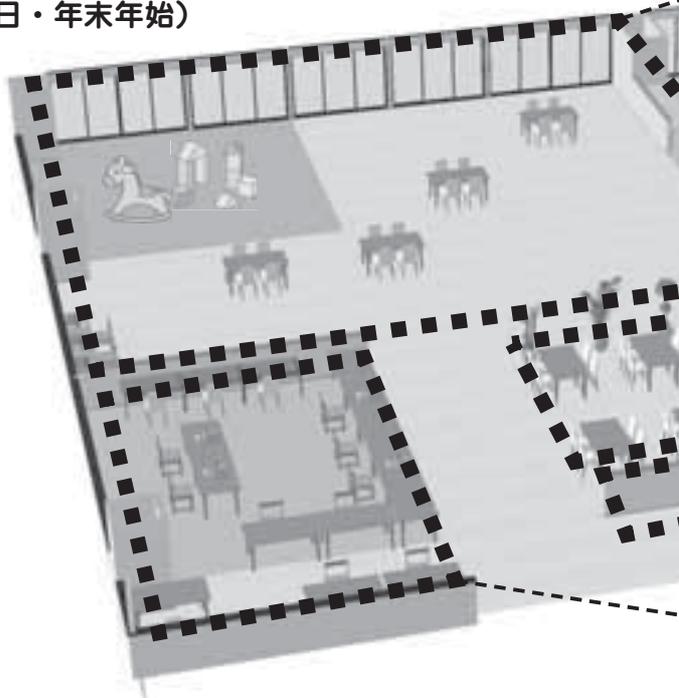
情報紙「eyes」を全面的にリニューアルし、あいぽーとの事業内容やその成果を、市民の方から全国の市民活動支援センターまで広範囲に伝えています。以前から発行している「あいぽーと通信」「ボランティア募集保存版」も内容をさらに充実させています。また4月からは新たにホームページを開設し、よりタイムリーに情報を発信しています。

（ホームページ：<http://www.kumamoto-aiport.com>）

基金運営機能

熊本市が政令指定都市となったことを記念して創設された「くまもと・わくわく基金」に関して、寄付することで市民公益活動を応援したいという方や自分たちの活動でこれからのまちづくりを担いたいと思っている活動団体等からの基金に関する相談に対応しています。

基金の詳細は8ページをご覧ください。



「戦ぽんぽこ」 に学ぶ市民活動



日々、市民活動に奮闘しているぽんぽこマダムとぽんぽこオヤジ、映画の狸たちに、自分たちの姿を重ね合わせたみたいで……

オヤジ この映画は、落語ですね。

マダム 語りが古今亭志ん朝だから？

オヤジ そう。他にも鶴亀和尚狸の柳家小さんをはじめ、上方の桂米朝、桂文枝など大看板がズラリ。落語通にはたまらないですよ。

マダム さすが落研（オチケン）出身。

オヤジ それもありますが、この作品は落語にしないと成り立たないと思うんです。事故で人が死んだり、狸が大量に撃ち殺されたりして結構ハードな場面が多いでしょ。それから、どうみても田中角栄さんとか水木しげるさんが登場するし、過激な社会活動家や機動隊も出てくる。リアルすぎる。

マダム 地名もはっきり多摩ニュータウンとか町田とかでてきたりして……

オヤジ そう。でも、これを架空の場所にしてしまおうと、かえって先鋭的な批判になって、映画にはならない。

マダム だから、狸が主役の落語の世界ですか

オヤジ そう。そもそも落語自体に、化かすようなところがあるでしょ。噺の筋は滑稽で、映画のようにあり得ないことも起きる。でも、落語を聞いている人にとっては、その世界が現実にあるような気がしてくる。どこか自分の心の内や価値観を見透かされているような気になってきて、最後にオチで落とされて安心するといったような……この映画もたぶんそう。最後のオチで

安心しました。

マダム なるほど。実は、私はこのアニメを、高度経済成長期の開発ラッシュによって自然を破壊され、狸が住む場所を追われ抵抗運動を繰り広げるといった話だと記憶していました。でも、自分が市民活動に関わるようになった今、改めてこれを見ると、この映画は結構深いと思うんです。

オヤジ 例えば？

マダム 狸にも化ける狸と化けられない並みの狸がいて、それぞれに求める暮らしが違うこととか、四国の長老狸を招聘してその権威とか神通力を頼ろうとするが結局失敗するところなどです。四国の長老狸だって最後は三者三様の方向に進むでしょ。あれなんか、ものすごい教訓めいていると思う。それから、義理人情、しがらみ、理念や信念のぶつかり合い、因習に囚われた行動とか。

オヤジ 狸たちの会合の場面なんて、しょっちゅう見ている人間の会議そのまま。

マダム 疲れますよね、ホント。目の下にクマがでちゃう。

（ここでぽんぽこオヤジ、鞆の中からドリンク剤を取り出してマダムに渡し、ともにグイと飲む。）

マダム 地域の課題を自分たちの手で解決しようというのが、自立した市民活動の原点だと思うのですが、ともすればその中心にいる人には疲労感や焦燥感が付きものです。

オヤジ アニメでも、やけっぱちになって玉砕した狸がいましたね。そんな感じですか。

マダム ええ、でもアニメでは、人間を化かしてお金を巻き上げようとした狸もあり、人間社会の

シネマ放談

第1回

「平成狸合

「平成狸合戦ぽんぽこ」とは

1994年公開のスタジオジブリ制作の劇場アニメ作品。原作・監督・脚本は高畑勲。

舞台は自然の恵み多き東京は多摩丘陵。そこに住むタヌキたちはのんびりとひそやかに暮っていた。しかし、宅地造成による自然破壊によって、タヌキたちのエサ場が次第に少なくなっていた。自分たちの住処を守るため、タヌキたちは先祖伝来の“化け学”で人間たちに対抗することに…

中でサラリーマンに化けて生きる狸もありで、開発阻止には失敗したけれど、今でも町の片隅に狸がひっそり暮らしているという結末に、ほっとさせられましたね。狸が全員玉砕の道を辿らず、それぞれが生きていく道を探って行くところが、深いと思いました。

オヤジ 鶴亀和尚狸が、映画の最後の方で「遊び心を失ったら狸も終わりじゃ」みたいなことを言いますね。あれも実に深い。

マダム シリアスな活動ほど、どこか自分を茶化すような部分がないと、人はついて来ませんね。自分たちが楽しんで、こんな地域になればいいなと語り合えるようになると、仲間がいるからもうちょっとやろうかなと考えたりするわけです。サラリーマンになった正吉狸が並みの狸の宴会に飛び入りしたりして、また頑張って生きていくわけです。

オヤジ うーん、人間くさいなあ。ところで、物語の中盤で妖怪大作戦のパレードがあつて、化け物が街を練り歩いた時、子どもたちがそれを遊園地のパレードだと思わなかったでしょ。狸たちは、崇りや畏れといった観念的な怖さを伝えなかったのにアテが外れた。おまけに、いいところはワンダーランドのオヤジに横取りされた。あれなんか、市民運動のデモ行進の虚しさみたいなのを感じてしまうところですが、・・・皮肉すぎますでしょうか。

マダム その子どもたちの反応から学ばなかったところに失敗の本質があると思います。これ、深く読みすぎかもしれませんが。

オヤジ と言うと？

マダム 子どもが遊園地のパレードだと喜ぶのなら、狸たちは遊園地の出し物を請け負う会社を作

るとか、稼いだお金で新たな山を買い取るとか、そこを考えるべきだった。

オヤジ あー、そういうこと。「人間離れた人間として生きて行く道を選ぶ」という、四国の長老狸の宗旨替えの部分ですね。

マダム 化けて人を喜ばせるのが狸の特技であり楽しみなんだから、それを生かせば、狸の森はもっと大きく保全されたはずです。

オヤジ なるほど、それって、ドラッカーの言う顧客の視点ですよ。顧客への貢献。

マダム 「もし平成狸合戦ぽんぽこの狸がドラッカーのマネジメントを読んだら」って二匹目のドジョウが狙える(笑)。

オヤジ やっぱりこのアニメ、深いですね。そう言えば、佐渡のなんてろって長老狸は、結局最後まで登場しなかったけど、四国の三長老を合わせて四天王が揃っちゃったら狸が強すぎちゃう。妖怪パレードで目的成就したんじゃ、市民活動は発展しない(笑)。

マダム なるほどそこまで言う。

オヤジ ジブリもたゞだ、狸のキ○○マは八畳敷とか、そんなことを無邪気に言ってみたかったんじゃないでしょうか。だって、鶴亀和尚狸のキ○○マ袋の緋毛織の上で狸が会議する場面なんて要らないでしょう、あれ、大好きですけど。

マダム でも、あれを入れることで映画としての化かしは完璧？ やっぱり狸の落語だわ。



きょうから始める市民活動（1）

活動のきっかけをつかもう！

あいぽーとは、これから仲間を見つけたい方、団体は作ったけれど活動運営に悩んでいる方等を対象に、市民活動の道しるべとなる連続講座を開催しています。

第1回は7月6日に開催。参加された23名の方は、それぞれの思いを語り合っただけに盛り上がりました。そのときの様子をレポートします。

今回のねらい

1. 今後のお付き合いのためお互いを知る
2. 個人（団体）が誰に対してどんなことをしたいのかを改めて言葉にする
3. 簡単・便利な「グループ作業」の方法を体験習得する。



できることを表明すると、

必ず人が寄ってくる

セミナーはまず参加者それぞれが「自分の得意なこと、好きなこと」を8つ列挙することからスタートしました。2〜3つは挙げられても8つとなるとなかなか難しいもの。でも頑張って8つ挙げるのがミソです。

発表してもらった中には「お酒の後のだご汁作り」「はまちの解体」「見上げてごらん空の星をを歌うこと」「アロママッサージ」などのほか、「ビール」「焼酎」「日本酒」・・・とお酒の種類で数を増やした知恵者から、「乗り物で寝ていても必ず目的地の前で目が覚める」といった特殊(?)能力者まで多種多様。

「だご汁食べてみたい人?」「歌を聴いてみたい人?」の問いかけに、たくさん手が挙がりました。私、何もできないから・・・では何も始まりません。できることを表明すると、手が挙がったように、向こうから人が寄ってきます。何から始めていいかわからないモヤモヤの解消には、ウソでも8つ書く凶々しさと仲間を探す一所懸命さが重要なのです。

ワールド・カフェ方式の

対話を体験しよう

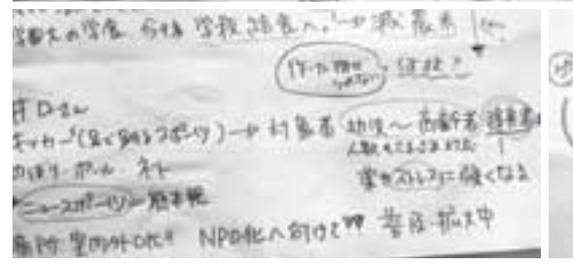
次に、参加者それぞれが「私はどういう相手にどういうことをしたいか」をメモしました。まだうまく言葉にできない方もいましたが、この時点では問題ありません。

そのメモを持って、いよいよワールド・カフェのスタートです。

4〜5人の班を作り、「私はこういう人にこういうことで役に立ちたい」ということを話し合いました。「それならば、こんなこともできるのではないですか?」「私も同じようなことを考えているんです」「こんなことを一緒にしませんか?」など、いろいろな意見が飛び交い、たいへんな盛り上がり。

30分たったところで、席替えです。一人を残して全員バラバラに移動して、違うメンバーと同じように話し合いました。その結果を発表し、情報を共有した上で、最後に、各人が「私がしたいこと」をミッションシートに記入。ほぼ全員が、自分の思いを言葉にできるようになりました。

終了後もほとんどの方が残り、コーヒーを飲みながらの交流が続いていました。



★参加者の声★

自分のやりたい事がより具体的になり、まわりの仲間ができた。今後協力してやっていけば、夢が実現するのではという希望がわいてきた▼自分のしたい事が明確になったと思います。▼デイスカッションの中で、互いに共通の話題を見出すことができました▼人脈ができたと思う▼似たようなことを考えていらっしゃる方と知り合えたことがうれしい▼似ている活動をしている人もたくさんいたが、違う活動をしている人の話を聞くことができてよかった▼若い人も立派な考えの方がたくさんいらっしゃるのに改めて安心しました▼時間が足りずにあまりお話を聞けなかった方がいましたので、もっとたくさん今後お話ができればと思います▼たくさんの仲間にあつという間に会った気がしワクワクした▼具体的に活動している方が多く、私はその前の段階です。もやもやした人達同士で集まれば、抜け出せたかとも思います。

次回セミナーは**8月3日(金)**仲間呼びかけるための手法を学び、実際にチラシを作ります。参加を希望される方は**あいぼーと**まで。

★ あいぽーと仲間の1週間 ★



童謡コーラスグループ

気まぐれーズ

あいぽーとの童謡コンサートでもおなじみの‘気まぐれーズ’は、男性5人の童謡や唱歌のコーラスグループ。市内の老人ホームや福祉センターからのコンサートの依頼でこのところ大忙しです。

下通の居酒屋「気真暮停（きまぐれてい）」に通う職場の仲間5人。退職したら一緒にボランティア活動をしたいねと話していたところ、学生時代にコーラス部だったミヤちゃんが定年退職

を迎え、話は現実に！ミヤちゃん得意の歌声を活かして、3年前の七夕の日に気まぐれーズは誕生しました。これまでに開催した童謡コンサートは30回以上。レパートリーは140曲以上（現在も増殖中）。そんな元気な気まぐれーズの1週間を紹介します。

※「気まぐれーズ」ホームページ <http://www15.plala.or.jp/amakusaturio/kimagurehome.htm>



schedule

5/6 (日) 童謡コンサートの依頼がありました。即、メンバーにメールで連絡

5/8 (火) メンバー5名中、4名が参加OKを確認。ピアノ担当のナベちゃん、所用で欠席のため、ピアノをパソコンに入れてくれました・・・便利な時代になったものです。

5/9(水) ~5/11(金) メンバー5名中4名は現役サラリーマン。一所懸命に仕事

5/12 (土) かねてから依頼されていた“童謡コンサート”の開催（午前と午後のダブルヘッダー）
♪♪気まぐれーズは結構売れっ子なのだ♪♪
午前：西里デイサービスセンター「童謡コンサート～プレ母の日イベント～」
午後：サンビレッジ高平台（特老ホーム）「童謡コンサート～プレ母の日イベント～」

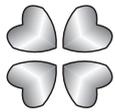
5/13 (日) 通常なら、練習日ですが、前日コンサートがあったため休養日

5/14 (月) 明日の本番コンサートに向け、曲目等の確認及び、明日、打ち上げの確認

5/15 (火) コンサート本番♪コスモス・ファミリー熊本（特養ホーム）でお誕生日会

参加された50名のお年寄りの方々、職員の方々、みなさん一緒に！楽しく！大きな声で！元気一杯に歌って頂き、とても楽しいひとときを過ごす事ができました。夜は打ち上げで、おいしいお酒も飲みました。感謝！





(熊本市市民公益活動支援基金)

くまもと・わくわく基金からのお知らせ

くまもと・わくわく基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからご寄附をいただき、平成24年6月30日現在、その寄附額は125万円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。

ご寄附いただきました皆さまへの感謝の意を込め、以下にご芳名を掲載させていただきます。

また、お寄せいただいた方の寄附への思いも掲載させていただきます。

ご 芳 名	寄附額
株式会社 コスギ不動産 代表取締役 小杉 康之 様	1,000,000円
流泳館 熊本西部スイミングクラブ 代表取締役 西山 茂久 様	100,000円
飯銅 芳明 様	20,000円
高田 晋 様	20,000円
財団法人 熊本市駐車場公社 様	10,000円
古賀 マル子 様	100,000円

※お申し出順に掲載させていただきます。

- 子どもからお年寄りまで生涯健康で元気に過ごせるよう、水の力でお手伝いできればと水中運動を提案・実践してきました。弊社は今年25年目を迎えます。この節目の年に、熊本市が政令指定都市に移行し、思いがけず新たな一歩を一緒にスタートすることができました。益々、市民の皆様が幸せを感じながら暮らせるよう、市民活動を頑張っておられる団体の支援ができればと思い、寄附をしました。(流泳館熊本西部スイミングクラブ代表取締役 西山茂久様)
- 市民活動に参加したいと思いますが、まずは寄附という形で参加させていただきました。行政の役割、私たち市民の役割、それぞれが役割と責任を担い「自分たちのまちは自分たちでつくる!」というみんなの思いで、住みやすく活気のある政令指定都市を実現できればと思います。(高田晋様)
- 当公社は熊本市における道路交通の円滑化及び都市機能の確保並びに各種市民サービスの提供に必要な事業を行い、もって市民の安全と福利の増進に寄与することを目的に設立された財団であります。その活動の一環として、このたび「くまもとわくわく基金」に協力し、まちづくり活動等に取組まれている団体を応援することと致しました。(財熊本市駐車場公社様)
- 5月に65年連れ添った夫に先立たれ、香典の一部を寄附させていただきました。日本各地の大きな災害での救援の様子を見るにつけ、熊本にもそうした活動をされているグループがあるのかしらと、生前夫と話をしておりました。先般の東日本大震災の折も、高齢になった私たちが出来ることは街頭の募金くらいしかありませんでした。聞くところによると熊本市内にも2,000を超えるボランティア団体があるとのこと。活動の目的や分野は様々のようですが、いざというときに頼りになる存在が、身近にあるのは心強い限りです。そうした方々の活動に少しでも役立てていただければ、夫も喜んでくれると思います。最後になりましたが、寄附へのお礼状もいただきご会葬いただいた皆様にもお配りできましたこと、心よりお礼申し上げます。(古賀マル子様)

寄附をお考えの方

くまもと・わくわく基金へ寄附をされる場合、まず「寄附申出書」にご記入いただき、熊本市市民協働課にご提出ください。その後、振込方法等をご連絡させていただきます。

寄附額には制限はありませんが、2,000円以上ですと、地方公共団体に対する寄附として「ふるさと納税」扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附のお申込みやお問合せ、ご不明点等は、お気軽にあいぽーとまでご連絡ください。

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと TEL 096-366-0168

ホームページ http://www.kumamoto-airport.com/kumamoto_wakuwaku/



..... くまもと・わくわく基金の相談窓口から NPOの相談窓口から

いよいよわくわく基金の団体登録が開始され、申請においてになる団体も徐々に増えてきています。

団体登録申請時に特にお問い合わせが多いのが、押印の事です。NPO 法人の場合は登記されている印鑑を、任意団体の場合は代表者印を押印してください。

実際に書類を作成すると、どう書いたらいいのかわからなくなることもあると思います。そんな時のお助けセンターがあいぽーと窓口です。書類の記入方法から提出まで、どんなことでもご相談を受け付けています。

8月からは、基金の助成申請受付も始まりますが、まずは登録しておく必要がありますので、要注意ですよ。初年度の助成団体の決定は、10月中旬に発表予定となっています。特にスタートアップ助成は、これから活動を本格化させる団体には打ってつけでオススメです。まずは、登録のためのご相談をお待ちしています。

まだまだスタートしたばかりですが、私たちスタッフも一緒に成長していきたいと思っています。(家)

4月から市内のNPO法人の所轄庁が熊本市となり、法人の申請や相談窓口があいぽーとでできるようになりました。相談窓口は、連日多くの方々にご利用頂いています。特に6月は事業報告書の提出に200名近くの方に来所頂きました。

つい先日、福祉事業を始めたいという女性からの相談を受け、法人設立に向けてのサポートを開始したところです。何度となく書類のやり取りをしているうちに、こちら相談者の立場になって、何とか上手く事業運営ができますようにと気持ちが入っていくから不思議です。

窓口にいるいろいろな方との出会いがあり、知らないことばかりです。熊本市のあらゆる場所で様々な活動が行われることを支援していく仕事はやりがいもありますが、責任重大だとも思っています。今度はどんな団体のお手伝いができるだろうと楽しみです。NPO法人の設立をお考えの方、是非気軽に、「あいぽーと」の窓口いらしてください。

待つてま〜す！(兵)

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと



住所：熊本市中央区大江5丁目1-1
 電話：096-366-0168
 MAIL：aiport_kumamoto_city@joy.ocn.ne.jp
 開館時間：午前8時30分～午後9時
 休館日：毎月第2木曜および年末年始
 アクセス：電車・バス「交通局前」、市道（産業道路）バス「NTT病院前」

センター主催のイベントや講座、ボランティアの募集、わくわく基金等に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kumamoto-aiport.com>

編集後記

★いよいよ夏本番！どうにかこうにか「eyes 創刊号」の編集、終わったぞ〜!!みんな読んでくれるかな?これで、ビールが、ますます美味しくなるぞ〜!!大雨が終わったと思った途端、蝉が鳴きだし、ビリビリの炎天下!!あ〜、蚊には刺されるし、日焼けはするし…。イヤだなあ。今年こそ、熊本港の花火を見たいなあ(か)

★eyesの取材で、気まぐれレーズさんの童謡コンサートに行きました。久しぶりに童謡や唱和を耳にし、聴いているうちに、思わず口ずさんでいました。幼いころに聞いた歌って、いつまでも覚えているものですね。癒された時間が過ごせました。(直)

eyes (あいず)

8月号 / 初回号 2012年8月1日発行

★発行所

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
 〒862-0971
 熊本県熊本市中央区大江5丁目1-1
 TEL：096-366-0168

★印刷所

シモダ印刷株式会社

本誌掲載記事の無断転載を禁じます



あいぽーと Information

市民公益セミナー開催のお知らせ

市民の皆さま一人ひとりを対象に、情報共有・参画・協働をテーマに、まちづくりの視点も取り入れたセミナーを開催します。

これから仲間を見つけたい人、団体は作ったけど活動運営に悩んでいる方への“道しるべ”となるよう、連続講座として構成しています。

全5回シリーズに参加終了後には、修了証がもらえます！
皆さまのご参加をお待ちしています。

募集中



- 日 時： 平成24年 7月6日（金）
 - 8月3日（金）
 - 9月7日（金）
 - 12月7日（金）
 - 平成25年 1月11日（金）
- 14：00～16：30

- 場 所： ウェルパルクまもと1階 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと会議・セミナー室
- 対象者： ボランティアやNPOを始めたいと思っている方、参画・協働に興味のある方
- 定 員： 30名
- 受講料： 無料
- 申し込み方法： あいぽーとに来所いただくかFAX、電話で申し込んでください。

**9月1日より
募集開始**

NPO設立説明会の開催のお知らせ

熊本市内のNPO法人設立を考えている方を対象に、書類作成の方法等の説明会を開催します。

- 日 時： 平成24年9月28日（金）15：30～18：00
- 場 所： ウェルパルクまもと1階 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと会議・セミナー室
- 定 員： 60人（先着順）
- 受講料： 無料
- 申し込み方法： 事前に熊本市コールセンターひごまるコール（TEL096-334-1500）まで申し込んでください。
※11月16日（金）、平成25年1月18日（金）、2月8日（金）にも同じ内容で開催する予定です。

募集中

あいぽーと折々ボランティア募集

あいぽーとで発行している「あいぽーと通信」「eyes」などの情報誌の発送作業を手伝ってくださるボランティアを募集しています。

紙を折る、封入するといった簡単な作業です。参加は一人でも、仲間の皆さんとでも構いません。

気軽に始めることができるので、ボランティアを始めたいけど、はじめの一步が踏み出せないの方にピッタリです。

- 活動日時： 月1回、毎月末、午前10時～12時まで
 - 場 所： ウェルパルクまもと1階 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
- ※詳しいことは、あいぽーとスタッフに尋ねてください。

あいぽーと文化祭 2012

今年のテーマは「集う力が未来をきずく」
体験あり！ライブあり！試食あり！の文化祭！！
市民団体が日頃の成果を披露します！！



2012年11月25日（日）10:00～16:00

■場 所： 熊本市市民活動支援センター あいぽーと

■主 催： あいぽーと文化祭実行委員会

■出展内容（予定）： 肥後ちょんかけごま披露／アロマテラピー／南京玉すだれ
ミニ門松づくり／手話ダンス／気功動作披露／みさを大豆紹介
ミニトランポリン体験／EM発酵液紹介／発声体験 など